

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2025年5月29日(木)

NO. 1582号

本号3頁

若者憲法集会

1100人が「戦争する国反対・コメ買える政治を」と訴える

石破茂政権による「戦争する国づくり」に反対し、憲法を生かした政治の実現を求めて「若者憲法集会 2025」が25日、東京都内で開かれました。集会後、銀座でのデモ行進には全国から集まった1100人が、サウンドカーから流れるラップのリズムに合わせて、「大軍拡反対」「お米を普通に買える政治を」「消費税下げろ」と声をあげました。リズムに乗って沿道から写真を撮る人もいました。主催は若者憲法集会実行委員会。

デモでは青年がスピーチ。「憲法を盾に政治を前に進めよう」「対話になる平和外交こそが大事だ。軍事費ではなく医療・介護など福祉にお金を回してほしい」と訴えました。

長野県内の薬局で事務職員として働く女性（25）＝同辰野町＝は、物価高で薬代を払えない患者がいると指摘。「誰もが安心して医療を受けられるような政治を求めたい」と語りました。

札幌市から参加した北海道大学の学生は「自分は理系ですが、軍事研究には反対です。学費を下げしてほしい」と話しました。

デモ出発に先立ちあいさつした日本共産党の田村智子委員長は、敵基地攻撃能力の保有と大軍拡に反対するネットワークを全国に広げて、若者憲法集会が行われていることに敬意を表し、トランプ政権のもとで「米国いいなり」の政治でいいのかが問われていると強調。米国でも若者が、反トランプの行動を起こしていることにも触れ、『戦争のない未来』『憲法いかせ』の若者の連帯を広げよう」と激励しました。

若者憲法集会メイン企画では日本婦人団体連合会（婦団連）の小畑雅子会長が講演し、関連企画を行いました。

公明平木氏、「議員任期延長は自分の身分保障のため」とも

前号で、22日の衆院憲法審査会で、公明党の平木大作氏は、自民党が掲げる憲法9条への自衛隊明記に反対する考えを示しましたと報じました。「国論を二分するテーマに挑むことは多大な政治的エネルギーを使う。憲法解釈の安定性を揺るがす危険性があり、賛成できない」と明言しました。一方、自衛隊は日本最大の實力組織だとして「内閣や国会による民主的統制の確保は、国民主権の原理からも重要だ」と指摘。憲法が定める統治機構※の中に位置付けることは検討に値するとししました。

日本国憲法で統治機構として国会・内閣・裁判所が規定されています。発言の趣旨は、自民は改憲4項目で自衛隊を9条に明記することを掲げて来ましたが、公明は首相や内閣の職務を定める72条や73条に盛り込むべきだと主張してきました。

その平木氏は、与党でありながら改憲勢力を批判する、次のような発言を行いました。同性婚を認めない民法の規定を違憲とする判断が高裁で相次ぐことなどから、「個人の尊厳に関わる問題（で

の立法)は放置し、緊急事態における任期延長に専念する姿は、国会議員が自分たちの身分保障にきゅうきゅうとしているようにしか国民の目には映っていない」と述べたのです。

国民民主支持率下落…山尾氏ら擁立に批判の声広がる

夏の参院選を前に国民民主が政党支持率の下落に危機感を強めています。過去の言動に批判があった議員経験者の擁立を巡り、躍進の原動力となってきたSNSで反発が広がっているほか、地方選での公認候補の落選や議員の不祥事も重なっているため、党内からは不安の声も出ています。

玉木代表は25日、東京都内での街頭演説で、「(党が)大きくなったら大きくなつたで課題、問題もある。それを乗り切っていきたい」と述べ、支持を呼びかけました。

読売新聞社が16～18日に実施した全国世論調査で党の支持率は4月から2ポイント減の11%で、報道各社の今月の世論調査でも前月からの下落が目立っています。

党内では、今月14日に元衆院議員の山尾志桜里氏や前参院議員の須藤元気氏ら議員経験者4人を参院選比例選に擁立すると発表したことが影響したと見る向きは多いようです。

山尾氏は過去に既婚男性との交際疑惑などが報じられ、須藤氏は原発の活用を掲げる党の政策と異なる主張をしていたため、党の「手取りを増やす」との主張が好意的に受け止められてきたSNSでは一転、「変な流れになってきた」「支持をやめる」などと批判的な投稿が増えています。

玉木氏は「党の合意事項に反する行動はとらない」と約束させる確認書の提出を公認条件にしたと公表して沈静化を図っているものの、反発は収まっていません。

党の足元も揺らいでいます。堅調な支持率を背景に全国の市議選で公認候補のトップ当選が相次いでいましたが、18日の埼玉県和光市議補欠選挙(定数1)で敗れ、「勢いが止まった」(自民党幹部)との指摘も出ています。「政治とカネ」に厳しい目が向けられる中、神奈川県連は13日、代表を務める政治団体の政治資金収支報告書を未提出だったとして、横浜市議の県連幹事長職を解任したと発表しています。

コメを巡る失言をした江藤拓・前農相の対応を巡っては、玉木氏は当初「辞めるような話ではない」と語っていましたが、党幹部の意見を踏まえ、更迭を求める方針に転じました。党内には「世論を読み違えたら、参院選前に失速しかねない」(若手)との懸念が広がっており、玉木氏に丁寧な説明を求める声が強まっています。

各地のとりくみ

埼玉憲法会議結成 60 年記念講演会 新たな戦争しない 80 年の一步踏み出す

埼玉憲法会議は22日、さいたま市で結成60年記念講演会を開催、200人以上が参加しました。

あいさつした原富悟代表委員は、埼玉憲法会議が1965年7月の結成以降、草の根の運動で憲法改悪の危機を乗り越えてきたとして、「県民共同の財産として、これからも発展させていきたい」と述べました。

一橋大学名誉教授の渡辺治氏が講演し、憲法会議60年の活動は、自民党政治による改憲策動を何度も挫折させ、「戦争させない80年」をつくったと指摘。たたかいのなかで、一貫して政治を変えるために共闘を追求し、安保法制反対の運動以降は市民と野党の共闘を支えてきたことを語りました。

一方で、岸田政権から石破政権へと大軍拡路線が引き継がれ、「戦争しない80年を壊すものだ」「軍拡競争では日本とアジアの平和は実現しない」と批判。「私たちの憲法運動が、日本で99%近くの戦争を知らない世代をつくってきた。このことに確信を持ち新たな戦争しない80年の一步を踏み出そう」と呼びかけました。

甲府・9条の会が集い 憲法いかす運動を強めよう

甲府・9条の会は25日、甲府市内で憲法9条の集いを開催し、70人が参加しました。翻訳家の池田香代子さん(全国9条の会世話人)が講演しました。

池田さんは、ドイツ訪問の際に訪れた、市民運動でつくられた戦争の被害を伝える施設について紹介。戦後に記憶を残し、戦争の責任を明確にするドイツに対し、歴史に向き合わない日本政府を批判しました。

池田さんは、憲法9条について、「基礎となったのは国連憲章。戦争は悪だと国際ルールを人類が築いたもの。敵基地攻撃能力の保有など逆風が吹き荒れているなか、9条の理念をめざしていかなくてはならない」と強調しました。

参加した40代の女性は「傍聴者は加害者にもなるのではないかな。平和を守るという正しいことを市民・仲間とともに前に進めたい」と話しました。

集会は「日本国憲法をいかす国民的同を地域から芽用」とするアピールを確認しました。

https://chnj.it/h5SRtCDBDk. The sponsors are listed as '協賛:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会/安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合/九条の会' (Sponsored by: War Not Allowed / Don't Destroy Article 9! Total Participation Action Implementation Committee / Abolition of the Security Legislation and Restoration of Constitutionalism Citizens' Union / Article 9 Committee). At the bottom, it says '誰でも参加できます! SNSで大拡散を! #日本学術会議への介入に反対します' (Anyone can participate! Spread widely on SNS! #Oppose intervention in the Japanese Academy)."/>

憲法会議が呼びかける日本学術会議解体法案の廃案もとめる FAX 要請行動広がる

憲法会議が呼びかける「日本学術会議解体法案の廃案もとめる FAX 要請行動」が広がっています。全国革新懇、憲法共同センター、婦人民主クラブ等でも取り上げ、組織・仲間の皆さんに呼びかけています。皆さんも仲間に呼びかけ、是非取り組んでください。